

日本地学教育学会 2021 年度 第 3 回 常務委員会議事録

日 時：2022 年 1 月 19 日（水）18 時 00 分～19 時 45 分

場 所：Zoom による web 会議

出席者：久田健一郎，伊藤 孝，上栗伸一，小関純一，小森次郎，宮下 治，中林俊明，西浦慎悟，澤口 隆，菅原久誠，高橋 修，内記昭彦，廣木義久，松本 現，宮脇亮介，吉本直弘，渡来めぐみ（計 17 名）

議 題：

1. 前回（第 2 回）議事録の確認

2. 支部活動の見直しについて（伊藤）

支部活性化ワーキンググループ（伊藤 孝・小森次郎・菅原久誠・岩田 真・久森洗希・小出詠子）による「おうちで地学 2」の報告と今後の支部活性化について議論がなされた。インターネット時代の支部活動のあり方や支部長の選出などに関して議論され，各支部への支部長選出の依頼文を常務委員会（伊藤・澤口・高橋）で作成すること，また必要であれば会則（日本地学教育学会会則第 9 条および第 10 条）についても見直すなど，継続審議となった。

3. 島根大会の準備状況について（澤口）

4. IX GeoSciEd2022 島根大会の準備状況について（澤口）

2022 年度第 76 回全国大会島根大会および IX GeoSciEd 2022 島根大会の進捗状況について，庶務澤口から説明があった。前回の方針通り，プレおよびポスト巡検を含めて開催期間を 2022 年 8 月 19 日（金）～26 日（金）とし，開催形式はオンラインと対面のハイブリッド，IX GeoSciEd 2022 の会議開催時間を日本時間の 19 時～21 時に限定し，昼間に日本地学教育学会を，夜間に GeoSciEd2022 島根大会を開催する。セカンドサーキュラーを近日中に web 公開する予定である。

5. 次年度以降の大会開催地について（上栗）

2023 年度全国大会を滋賀で開催することが決定した。詳細は今後検討する。

6. 大学入学共通テストに係わる意見評価の作成体制について（松本）

本年度も，評価委員（松本 現・南島正重・青木秀則・宮嶋 敏・内記昭彦・安藤裕美・比企祐介・菊池信吾）により，2 月末までに大学入学共通テストの意見評価をまとめ，大学入試センターに送る予定である。

7. 学会賞細則の HP 掲載について（上栗）

日本地学教育学会賞表彰に関する細則をホームページ（学会の概要）にアップすることになった。

8. 若手優秀発表賞およびジュニアポスター優秀賞の制度化について（高橋）

若手優秀発表賞およびジュニアポスター優秀賞についての規約は継続審議中であるが，本年度島根大会までには十分な議論ができないことから，これら規約については，次年度以降の継続審議とする。

9. 入会者・退会者について（中林）

入会者：海老澤慎一（東京）

退会者：なし

*正会員 417, 購読有料会員 24, 購読無料会員 23, 学生 10, 在外 0, シニア会員 65,
名誉 3 : 合計 542.

10. その他

1) JST プレプリントサーバ運用への対応について (伊藤)

JST プレプリントサーバ運用への意見交換がなされた. 成果を迅速にコミュニティ内で流通できるメリットがあるが, 引用する際の扱いなどについて, 編集委員会を含め今後も継続して議論する.

報告:

1. 各種委員会報告

1) 「地学教育」編集委員会 (西浦)

西浦編集委員長から「地学教育」についての編集・発行状況が報告された.

・原著論文 13 件, 資料論文 7 件, 総説論文 1 件, 解説論文 2 件 = 計 23 件

(前回以降 原著論文 1, 資料論文 1, 解説論文 1 の投稿有り)

・第 74 巻第 1 号 --- 原著論文 3 件, 資料論文 1 件が掲載, 2022 年 1 月 25 日発行予定.

・第 74 巻第 2 号 --- 原著論文 2 件, 資料論文 2 件が掲載, 英文校閲の著者確認中.

・第 74 巻第 3 号 --- 原著論文 3 件, 資料論文 1 件が掲載, 取りまとめ中.

2) 「みんなの地学」編集委員会 (廣木)

「みんなの地学」第 3 号の特集テーマは「地学教育おもしろアイデア集」で投稿原稿は現在も募集中である. また, 第 2 号について, 残部を希望者に無償配布する旨を学会ニュースで配信することになった.

3. その他

なし

*次回, 2021 年度 第 4 回常務委員会 3 月 24 日 (木) 開催.